

# 7月5日から大雨による農作物等の管理対策の徹底について

平成30年7月6日  
福井県農業総合指導推進会議

## 1 共通事項

- ・大雨がおさまった後でも、増水した水路等の危険な場所には近づかない。
- ・大雨後の畦畔や法面は崩壊しやすいので注意する。
- ・大雨により冠水や浸水している場合は、排水溝を掘り直すなど排水対策を徹底する。
- ・通過後、適時適切な病害虫防除に努める。

## 2 施設園芸等

- ・ハウス内の適切な温湿度管理に努める。
- ・冠水した場合は、排水ポンプや溝切り等により、速やかに排水する。

## 3 大豆・ソバ

- ・大豆は、冠水した場合は速やかな圃場排水を行い、葉の黄化がみられる場合は、土壌水分が下がり次第、中耕・培土を行う。
- ・夏そばは停滞水を除去して排水が完了したら速やかに収穫する。

## 4 野菜(露地)

- ・圃場の停滞水を速やかに除去し、ほ場を乾かす。
- ・追肥、液肥の葉面散布等により生育の回復に努める。
- ・病気にかかっている株は、被害の拡大を防止するため、直ちに抜き取り圃場外に廃棄する。
- ・適宜、防除を行う。

## 5 果樹・花き

- ・圃場や通路の排水対策を行い、ほ場を乾かす。
- ・適宜、防除を行う。

## 6 畜産

- ・畜舎等が浸水した場合は、すぐに排水し、疾病予防のため洗浄・消毒し、乾燥に努める。
- ・牧草地で侵食や土砂流入が発生した場合は、早急に現状復帰を図る。